

令和5年4月10日（月）前期始業式

桜梅桃李 ～世界で一つだけの花～

新3年生、新2年生の皆さん、進級おめでとうございます。体育館に整列し、前をしっかり向いている皆さんの姿を見ると、3年生は三尻中学校の最高学年に、2年生は中堅学年に、それぞれ進級したのだという自覚を感じることができます。3年生は、先週金曜日の準備登校で新年度を迎える準備作業をしてくれました。今年度、本校に新たに着任した数名の先生に、3年生の皆さんの印象を聞いてみました。「とても素直。『はい』という返事が素晴らしい」「面倒くさがらず一生懸命に動く」「『〇〇しますよ』と自ら進んで仕事を探していた」「床ふくというより床を磨いている感じ」などのお話をいただきました。とてもうれしく思います。今年度もさらなる成長が楽しみです。

前期始業式にあたり、まず「桜梅桃李（おうばいとうり）」という言葉を紹介します。「さくら」「うめ」「もも」「すもも」の4種類の花を並べた言葉です。鎌倉時代の説話集「古今著聞集」に収められています。この言葉には、花の形や咲き方は違うけれども、それぞれの花の美しさを認め、そのよさを生かすことが大切だというメッセージが込められているように感じます。このメッセージを現代の表現に当てはめてみれば、「世界に一つだけの花」の歌詞がぴったりのように思います。歌詞を読んでみますね。

花屋の店先に並んだいろんな花を見ていた 人それぞれ好みはあるけど どれもみんなきれいだね
この中で誰が一番だなんて争うこともしないで バケツの中誇らしげに しゃんと胸を張っている

私は歌詞の「バケツの中誇らしげに しゃんと胸を張っている」という部分に特に心惹かれます。本校の生徒会第77期のスローガン「一人一人が誇りと自分の色をもち輝いていける学校へ」と重なるからです。皆さん一人一人が、学校生活の様々な場面で、誇らしげに、しゃんと胸を張ってられる1年間になることを願っています。

そのために、皆さんに意識して欲しいことは2つです。1つは、自分自身のよいところをたくさん見つけて欲しいということです。今、「皆さん自身のよいところを3つ挙げてみて下さい」と言われたら、すぐに挙げるができるでしょうか。よいところがたくさん見つかるようになると、自分自身にも自信や誇りが芽生えてくると思います。

2つ目は「自分自身のよいところ」だけでなく「周りの人のよいところ」もたくさん見つけて欲しいということです。人間誰でも、周りの人の「よくないところ」にはすぐに気が付きます。その反面、「よいところ」を見つけるのは、案外難しいことなのかもしれません。ですから、誰もがもっている「よいところ」を見つける練習を重ね、それを認める「目」や「心」を養うことが大切なのです。パナソニックの創業者である松下幸之助さんは「人の長所が多く目につく人は幸せである」という言葉を残しています。それは「長所（よいところ）」を認めつつ周りの人と接することで、人間関係がよくなり、自分自身の成長にもつながるからだということです。

今日から、新入生130名を加え全校生徒445名で、令和5年度の新生・三尻中学校がスタートします。三尻中学校にとって、今年度が飛躍の1年となるよう、生徒・職員みんなで進んでいきましょう。以上、令和5年度前期始業式の式辞とします。

熊谷市立三尻中学校長 田沼良宣